



# 育連だより



<https://web-k.jp/ikuren/new/>

## 能登半島地震義援金募金活動

日本ボーイスカウト川崎第53団 団委員長 水島 一 誠

ボーイスカウト川崎第53団は、2024年1月14日10:00~11:00の1時間、スカウト34名、保護者と指導者24名合計58名で、小田急線新百合ヶ丘駅周辺3か所、柿生駅周辺2カ所で「令和6年能登半島地震義援金募金」を行いました。

被災した地域の関係者もいて、その方は輪島の実家から当日朝出発し、川崎に帰る途中地震に遭遇するも無事に帰ってくることができました。実家の皆さんは被災されるも、ご無事だったのがなによりです。



スカウト達も「頑張るぞ!」と、意気込んで大きな声で募金をよびかけました。ビーバー隊（小学校1・2年）の年少の兄弟達も一緒に頑張る声を取り上げました。途中で休憩しようと声掛けしても「このまま頑張る」と1時間ずっと寒風の中立ち続けてくれました。

新百合ヶ丘駅では、ほかの団体も募金活動をしており、ボーイ隊のスカウトはそちらにも募金をしていました。通行する皆さんの関心が深く、1万円、5千円を入れていただく方もあり、これまでの年間2回行っている募金と比べると千円札を入れていただく方が多く、これまでの最高額の180,000円の募金をいただきました。

被災された珠洲市では、4年に1度開催されるボーイスカウト日本ジャンボリーを過去2回開催させていただきました。2006年第14回には20,654名が、2018年第17回には、13,414名が、大変お世話になった所でもあります。

お預かりした義援金は、早々に石川県の義援金受付口座に振り込ませていただきました。郵便局の窓口では、大量の小銭を快く受け取ってくださり、手数料も一切かかりませんでした。少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。被災された皆様の一瞬も早い復興を祈念しています。

## 「いっしょにやろうよ! 海洋少年団」を合言葉に

川崎海洋少年団

五月晴れのさわやかなお天気の中、横浜八景島シーパラダイスの係留所から出発し、カッター訓練を実施しました。

カッターボートは6人の漕ぎ手と見張り、艇長が各1名ずつ乗船し、力を合わせて漕ぎます。カッターはみんなの力を合わせないと進みません。今回の訓練では海風が吹き、波がたつ中、沖に向かって漕いだため、みんなで呼吸を合わせて漕ぎました。漕ぐときは、オールを深く海水に入れて、腕やお腹の筋肉を使い両足で踏ん張りながら全身で漕ぎました。オールが外れることもあり、上手く漕ぐことができない時もありましたが、みんなでカバーしながら漕ぐことができました。また、波を受けて転覆しないように、波をよけて漕ぐこともあり、少しずつ進路を変えながら訓練を行いました。

訓練を終えて陸に戻ると、みんなで協力して漕いだ満足感と体を動かして汗をかいた充実感があり、またみんなで漕ぎたいという気持ちになりました。

海洋少年団は、「海に親しみ、海に学び、海に鍛える」をモットーに活動を行っています。海洋少年団のミッションは、海に親しむ活動を通じて、社会に貢献し、国際性が豊かで、各分野のリーダーとして活躍できる人材を育成することです。また、活動に参加する団員には「1海のような広い心で団結し、すべての人を友とします。2体をきたえ心をやしない、りっぱな海の子になります。」というちかいと名誉、誠実、親切、礼儀、規律、約束、節約、明朗、清潔整頓、感謝の10の約束を実践し、進んで守れるように導いています。活動内容は、地区や年度によって異なりますが、カッター訓練の他、手旗信号、ロープワーク、航海訓練、水冷、ボランティア、レクレーション、水族館や科学館などの見学、全国大会、スキー教室、他の団体との交流、国際交流などの活動を通じて、子どもたちが健全に成長していけるよう活動を行っています。

いっしょに海風を感じながら、気持ちよく活動ができれば良いと思います。ぜひ、体験に来てみてください。

## ガールスカウトの活動

ガールスカウト川崎市連絡会

**ジュニアの集い** 「ドラム缶ピザ作り」 2023年11月26日

【14団】 中山 杏俐 (小4)

始めてメタルマッチを使いました。むずかしかったけど、スタッフの人にコツを教えてもらって火をつけることができました。火がつかなかったらおいしいピザが食べられなかったと思うと、すごくうれしかったです。



【14団】 佐藤 綾香 (小6)

火の当番をしました。火は色々と変化があっっておもしろいと思いました。寒い中でみんなで協力して作ったピザは、温かくておいしかったです。今度はメタルマッチで火をつけたいです。



**指導者育成事業** 「こどもの国でポイントラリー」 2023年12月10日

【14団】 青木 みゆ (小4)

私は、こどもの国でポイントラリーをやりました。最初にヘリサイクルをしました。こぐのがとても大変でした。次にローリングサイクルをしました。ジェットコースターみたいに速かったです。次に無名戦士の像に行き、近くの井戸に行きました。本当に水が出たのでびっくりしました。最後に赤いつり橋に行き、ポイントラリーをゴールしました。おかしをもらい、帰りにソフトクリームを食べました。みんなで来て楽しかったです。



**テンダーフット・ブラウニーのつどい** 「はまぎん ども宇宙科学館」 2024年1月28日

【40団】 羽間 陽茉莉 (小3)

「もし、町中の明かりが消えたら」

令和6年1月28日、ブラウニーの集いをして、はまぎんども宇宙科学館に行きました。他団のブラウニーと一緒に、プラネタリウムやなぞときなどで楽しみました。プラネタリウムでは、世界中の明かりが消えたとしたら、真夜中の空には春の星がもう見えると聞きました。

もし、私の住む町でも明かりが消えたら、あんなにたくさんの星が見えるとは思いませんでした。



【40団】 神田 実心 (小2)

今日はガールスカウトで、はまぎんどもうちゅうかがくかんのうちゅうせんからのきかんミッションをやりました。パトロールの名前をながれぼしにしたら、ながれるようになぞを1ばん早くせんぶとけました。その後、中でのアスレチックであそんだり、外のゆうぐでおにごっこをしたりしました。ガールスカウトは、今日も楽しかったです。



## 4年振りの賑やかな生田子ども会祭

多摩区子ども会連合会 富永のぞみ

昨年11月、多摩区生田支部の秋の恒例行事「生田子ども会祭」を開催しました。

コロナ禍で令和元年から2年間は実施できず、令和4年度は感染対策に十分に注意を払い、飲食店無し、ゲームのみの開催でした。子ども達は楽しんでくれていましたが、子ども会の育成者の方々が鉄板で焼いてくれた焼きそばやフランクフルトの味はまた格別に美味しく、子ども達にはいつも好評です。そこで今年度は4年振りに飲食店(焼きそば・フランクフルト・わたあめ・駄菓子)も出店しての子ども会祭を復活しました。



例年は生田小学校の校庭をお借りしていますが、学校の諸事情で今年度は栗谷町内会の須賀神社境内で開催致しました。会場の規模は小さくなりましたが、子ども達は出店を周って買い物をしたり、お友達とおしゃべりしながら飲食したり…笑顔が溢れる会場となりました。

ゲームは、ボウリングや輪投げなど、得点に応じて景品がもらえるので、子ども達は大変盛り上がっていました。そんな中、子ども会祭でいちばん盛り上がるのが「段ボールタワーチャレンジ」です。色々なサイズ、形の段ボールを設定時間以内に何段積めるかを競います。小さな子どもから大きな子ども、大人も楽しめ、境内には大きな歓声が響きわたりました。



デジタル化が進む今の時代、子ども達は自宅でゲームやYou Tubeを楽しむことが当たり前になっています。それはこれからの社会に適応するために必要な要素かもしれませんが、デジタルではない身体を使った遊び、友達と一緒に何かを体験すること、それに携わる世代を超えた方々とのコミュニケーション。子ども達には祭を通して、こういったことをたくさん感じてもらえたら嬉しいです。

## 流しそうめんと防災フェスタ

幸区子ども会連合会 小倉高志

ずっとやりたかったけど日程が調整できなかった流しそうめんを11月18日・19日の2日間で行いました。18日は4mの竹を2本、知り合いの山からいただき、なたを使って半分に割ることから始めました。建設業に携わっている私が危なくないように指導してから少しずつ順番に割った後、ノミで節を削り後、紙やすりできれいにしてOKがもらえるまでみんなでがんばりました。セッティングして水を流すまでが本日の仕事。約16mの巨大な装置が完成しました。

19日は本番で5町会の子ども会で順番に時間設定して食べてもらいました。11月とは思えないくらい暖かな日ざし降り注ぐ流しそうめん日和。つゆは鶏で出汁を取ったあたたかいものを用意し、総勢70名の子どもや保護者でにぎわいました。みそおでんも用意して楽しい美味しい行事となりました。

また2月17日(土)に小倉中町内会主催の第2回防災フェスタが小倉神社境内で開催されました。子ども会の役員も町会の定例会後に何度も行政の方や看護大学生と打ち合わせを行い、小学校や町内会に配布するチラシの見直しやスタンプラリーのコースなどを検討してきました。

新年早々に能登で大きな地震があったこともあり、約300人が参加しました。消防署の協力で起震車、煙体験、水消火器訓練が体験でき、どこも並ぶほど人気のブースになりました。



特に、起震車では立ってられない揺れに恐怖すら感じて、実際に揺れる家具の映像がリアルでした。今年は防災食品のアルファ化米を参加者に試食してもらい、無料の豚汁サービスも好評で、あつという間になくなってしまいました。

防災スタンプラリーは子どもからお年寄りまでゴールの小倉小学校を目指し4つのポイントで防災クイズに挑戦し、スタンプを全部集めると景品がもらえました。

小倉には市立看護大学があり、「体験して学ぶ！今日からできる防災対策」をテーマに、心臓マッサージや身近なものを活用した消火活動を一緒に体験させてもらいました。

いつ、どこで起きるか分からない震災に、少しでも備えておく心構えができるイベントとなりました。

# 中高生リーダー研修委員会

日時：11月18日(土) 15時から  
19日(日) 15時まで  
会場：川崎市青少年の家  
参加者：31名

4年ぶりの宿泊研修会  
「君たちは どう 交流するか」

《プログラム》  
名刺交換・ゲーム  
手旗信号キャンパスファイヤー  
クラフト(軍手ばさみ)  
ローズワーク



この研修会で初めて会う子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトの人と名刺交換をして話すきっかけができて、楽しかった。  
(高2 子ども会)



名刺交換

中学生の時参加して楽しかったので実行委員になりました。  
また、今回の研修でそう思ってくれる子がいたら嬉しいです。  
(高3 子ども会)

キャンプファイヤーでは、ボーイスカウトとは違う進行のレクと遊びでとても面白かったです。気軽に話しかけてくれたり、誘ってくれたり嬉しかったです。  
また、機会があったら参加したいです。  
(中1 ボーイスカウト)



クラフト

実行委員として2年目の参加でしたが、今年は3人しかいなくて不安でした。何度も会議を行い準備をしたので、2日間大きなミスなく進められました。他の団体の活動も改めて知れて楽しくいい経験になりました。  
(高2 子ども会)

子ども会の他区のレクやBS、GSの工作、海洋の手旗信号などの活動を通して、自分たちとは違う活動内容にとっても刺激を受けた2日間の交流会でした。  
(高1 子ども会)



軍手ばさみ ロープワーク

ガールスカウトからは1人の参加だったため最初は緊張してしゃべれなかったが、一緒に活動するうちに同じ部屋の人と少しずつ話すことができた。キャンプファイヤーも楽しかった。  
(中1 ガールスカウト)



お楽しみ会



手旗信号



キャンプファイヤー



マシュマロこんがり

発行 川崎市青少年育成連盟  
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10  
生活文化会館(てくのかわさき) 3階  
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

川崎市子ども会連盟  
ガールスカウト  
川崎市連絡会



ボーイスカウト  
川崎地区協議会  
川崎海洋少年団

※青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは川崎市青少年育成連盟事務局へ